

日常生活の指導 学習指導案

あさひ子学級6組 6名 指導者 藤原 志穂美

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子どもが意欲的に授業に参加して、活動の見通しをもつことができる内容であったか。
- 役割をもたせ、手段や称賛を「見える化」したことは、目標を意識したり言葉の力を育んだりする手立てとして有効であったか。

1 題材 進んで楽しく活動しよう

2 題材について

(1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、下のような様々な指導を展開している。

本題材は、子どもが朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たすことから効力感を得たり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で、一日のスタートの1校時に設定できる材料といえる。また、毎日、一定時間にはほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子どもは自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことにより様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子供は、日にちや天気、毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。次に、大型カレンダーで昨日までの行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動に見通しをもったりすることができる。さらに、カレンダー学習では「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のカードを貼ることで、時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉遣いを身に付けること、集団での決まりを守ること、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。このように、みんなでいきいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的な生活習慣の定着を図ることにもつながるものと考えられる。

(2) 子どもの実態

子どもは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の目標を一つずつ解決している。この題材における子どもの現段階での主な目標は次のとおりである。

児童（学年）	性別	個人目標
A（1年）	男	○ みんなと一緒に各活動に参加することができる。 ○ 自分ができることを進んで選択することができる。
B（2年）	女	○ 意欲的に活動に参加し、最後までやり遂げることができる。 ○ 友達や教師と一緒に確認しながら平仮名を読むことができる。
C（5年）	女	○ 友達と協力しながら各活動を行うことができる。 ○ 句読点に気をつけながら音読することができる。
D（5年）	男	○ 活動をする中で、友達に進んで教えることができる。 ○ 適切な速さと声の大きさとで音読することができる。
E（6年）	男	○ 各活動に見通しをもち、最後までやり遂げることができる。 ○ 句読点や文節で区切り、意味を理解しながら音読することができる。
F（6年）	男	○ 友達の話や教師の指示を聞き、返事等を行うことができる。 ○ 意欲的に各活動に参加し、友達と一緒に活動することができる。

(3) 指導に当たって

子供が自分の目標を達成できるように、子供は自分ができることを選択し、教師は称賛を十分に行うようにする。また、できたことや称賛は「見える化」することで、自分の成果を整理することができるようにする。さらに、友達を認め、教え合うことで、様々な活動を協力して最後までやり遂げることができるようにする。

3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、学級の一員としての役割を果たす喜びをもつとともに、今日一日やこれからの生活を楽しみや見通しをもつことができるようにする。

- (2) 当番活動の役割を決めたり、与えた役割を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や他者とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「昨日」「今日」「明日」などの時を表す言葉が分かり、時系列的な感覚を身に付けることができるようにする。
- (6) 話す、聞く、読む、書くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

4 指導の実際

()子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

時	主な学習活動	指導の手立て
20	1 朝の会をする。 (1) 朝の挨拶をする。 (先生や友達の名前を付けて挨拶するぞ。 元気よく挨拶するぞ。) (2) 健康観察をする。 (私も大きな声で挨拶をするぞ。 元気いっぱい気持ちがいいな。) (3) 今月の歌を歌う。 (大きな声で歌を歌うぞ。 笑顔で歌うと楽しいな。)	○ 一対一で挨拶することで、目を合わせたり、名前を付けて挨拶したりすることができるようにする。(F) ○ 「大きな声で『はい』と返事をしようね。」等の言葉掛けをすることで、名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるようにする。(A) ○ 名前をつけた挨拶とハイタッチを全員とすることで、学級の一人一人を意識することができるようにする。 ※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをしたりすることができる。 ○ 教師自らが、表情豊かに大きな声で歌うことで、子どもも大きな声と笑顔で歌うことができるようにする。 ※ 大きな声と笑顔で歌うことができる。
25	2 今日の当番活動を話し合い、決まった当番活動に取り組む。 (今日は何をがんばろうかな。 最後までしっかり頑張ろう。 今日は何の当番活動を手伝おう。 当番活動が終わったら、先生に「終わりました。」と伝えよう。) 3 モーニングメッセージを読む。 (今日は6月2日金曜日だ。 今日の天気は〇〇だ。 大きな声で元気に読むぞ。 友達の方を見て読んでみるぞ。) 4 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。 (今日は何をするのかな。 今週は何があるかな。 今日は何の授業があるのかな。 今日も一日頑張ろう。) 5 集中タイムで各自の課題をする。 (今から、〇〇をするぞ。 〇〇さんみたいに頑張るぞ。) 6 次の学習の開始時刻を確認する。	○ 活動を写真や文字で表したカードを用いることで、当番活動を進めることができるようにする。 ○ ペアでの当番活動を設定することで、活動の仕方を教えたり、教えてもらったりすることができるようにする。(DE) ○ 活動が終了したら担任に終わりを伝え、活動の区切りをつけることができるようにする。 ※ 進んで当番活動に取り組むことができる。 ○ すらすらと音読することができるように、助詞に印を付けたり、読み仮名をふったりするなどの支援を行う。(BC) ○ 子ども同士でよかったところを賞賛することでできたことへの自信をもつことができるようにする。 ※ 正しく音読したり、文の内容を理解したりすることができる。 ○ 日付や曜日、日にちの特別な言い方を確認することで月や週の見通しをもつことができるようにする。 ○ 今日の時間割や行事等の確認をすることで、今日の見通しをもつことができるようにする。 ※ 今日の予定や今週の予定など、活動に見通しをもつことができる。 ○ 各自の実態にあった学習内容を設定することで、自分の課題に向き合うことができるようにする。 ※ 課題に落ち着いて取り組むことができるようにする。 ○ できたことを振り返ることで、自分や友達の頑張りを認めることができるようにする。 ○ 次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定する。

